

NEWS RELEASE

報道関係各位

2018年3月15日

No. 2018031501

“本革を超えた車輻内装用新素材「QUOLE[®](クオーレ)」の研究開発と事業化”が 「福井県科学学術大賞」を受賞いたしました！

総合繊維メーカーのセーレン株式会社(東京本社:港区南青山/代表取締役会長最高経営責任者:川田達男)は、このほど、「第13回 福井県科学学術大賞」の選考によって、最高位である「福井県科学学術大賞」を受賞いたしましたので、ここにお知らせ致します。

この賞は、福井県内において科学技術の開発または学術研究に携わり、福井県の発展に貢献したものを顕彰することを目的とした表彰制度で、“福井県版 ミニ・ノーベル賞”と呼ばれています。その対象は、「物理」、「化学」、「生物」、「医学・生理学」、「経済」の5分野となっています。

今回の受賞は、車輻内装材として優れた特性を持つ合成皮革「QUOLE[®](クオーレ)」を開発し、事業化をはかったことが評価されました。

「福井県科学学術大賞」受賞について

1. 受賞 **福井県科学学術大賞**
2. 受賞者 セーレン(株) 山田和則、吉村不二陽、吉田憲彦、梅田博之、鈴木由香利
3. 業績名 『**本革を超えた車輻内装用新素材の研究開発と事業化**』

本革を超えた車輻内装用新素材「QUOLE[®]」について

1. 素材ブランド名 **「QUOLE[®]」**
2. 特徴
 - ①耐久性 : 耐久年数10年以上(本革の4倍、塩ビの100倍)
 - ②軽量性 : 本革の1/2の重量、自動車1台あたり2kgの軽量化
 - ③コスト : 本革の1/2~1/3の価格
 - ④意匠表現力 : 「Viscotecs[®]」との融合により多彩な色彩・凹凸表現が可能
 - ⑤快適機能性 : 表面温度の制御、通気・透湿機能、防汚機能の付与が可能
 - ⑥環境負荷低減 : 製造時に有機溶剤が1/2、CO²が65%削減

【研究内容】:(出典 第13回福井県科学学術大賞パンフレットより)

材料や工程の研究開発を行い、これまで両立が難しかった高い耐摩耗性とソフトな触感を両立させた合成皮革「QUOLE[®](クオーレ)」の製造を実現しました。さらに、これまでの製造工程に比べ有機溶剤を半減、CO²を65%削減するなど、環境に優しい製造工程を実現しました。カーシートとして多数の自動車メーカーに採用され、福井県の産業界にも大きく貢献しています。

★報道関係の方からのお問い合わせ先 セーレン株式会社総務部広報担当 吉田(東京)、森口(福井)

東京本社 TEL03-5411-3411 福井本社 TEL0776-35-2113